

### 水草研究会第17回全国集会報告

水草研究会の第17回全国集会は、1995年8月19日(土)~20日(日)の2日間、「幸せの水草佐賀市(さがし)…」と佐賀市の佐賀大学で水草研究会と佐賀自然史研究会との共催で行われた。本集会が南国九州で開催されたのは初めてのことであったが、幸いにも参加者は19日は94名、20日は71名と大盛況であった。8月19日には総会、研究発表会、懇親会が行われた。

総会では加崎英男会長の挨拶の後、別記の報告と審議が行われた。研究発表は計10題で以下の様な題目で、発表や質疑に熱が入り予定の時間を越えるほどであった。

1. 神谷要\*・国井秀伸(島根大学汽水域研究センター): 宍道湖・中海周辺のため池における水草相と水質の10年間の変化
2. 丸井英幹\*・梅原 徹(環境設計): 兵庫県南部の河川フロラの比較
3. 松井宏明\*・佐々木英代(環境調査技術研究所): 十勝川水系におけるバイカモの分布状況
4. 国井秀伸(島根大学汽水域研究センター): ヒツジグサ地下茎の長期観察
5. 白岩卓巳: ミズワラビの生活史
6. 下山田 隆\*・山田卓三(兵庫教育大学自然系理科教育): シチメンソウの葉の運動
7. 下田路子\*・吉野由紀夫(東和科学)・関 太郎(広島大学理学部): 広島県における水生・湿生植物の現状
8. 加崎英男(東京都立大学名誉教授): 絶滅が危惧される車軸藻の現状
9. 桜井善雄(応用生態学研究所): 「多自然型川づくり」における水辺植生の保全と回復
10. 岩村政浩(佐賀自然史研究会): 佐賀平野のクリークの水草ーバス見学案内ー(共同研究の場合\*が発表者であった)